



# 本庄市観光振興計画(概要版)

## 見つけよう、感動。伝えよう、魅力。 ～みんなで織りなす本庄絵巻～

本庄市として観光にしっかりと取り組んでいく「姿勢」、地域の魅力を再発見し、さらに美しく磨いていく「意欲」、他所から評価していただけるような本庄市を目指す「謙虚な心」をあらわすキャッチコピーを、上記のように決めました。

皆様も一緒に「本庄絵巻」を織りなしてみませんか。



### ○なぜ観光なのですか？

#### 計画策定の背景と必要性

本市では、これまでも「人が訪れたいくなる、にぎわいと魅力あるまち」を目指し、様々な取組を実施してきました。一方で、どうしても個別・単発の取組にとどまり、市としての計画的な対応が希薄になっていました。

そこで、観光への取組を計画的、組織的かつ横断的に実施するための「柱」として、「観光振興計画」を策定しました。

#### 計画の期間と位置づけ

本計画の計画期間は平成30年度から平成39年度までの10年間としました。

#### <本庄市総合振興計画における観光の位置づけ>

##### <将来像>

あなたと活かす みんなで育む 歴史と教育のまち 本庄  
～世のため、後のため～

##### <基本理念>

みんなで育む安心・共生のまちづくり

訪れたいくなる住み続けたいくなるまちづくり

市民と行政がともに創る安全のまちづくり



##### <経済環境分野>

持続可能で活気に満ちた、にぎわいと魅力のあるまち

観光の振興：めざす姿

○本庄市の地域資源を媒介に訪れる人たちと市民の交流が深まり、「また来たい」と思われる観光地となっています。

○農業・工業やフィルムコミッションなど、地域の産業と結びついた観光活性化策が繰り広げられています。

#### 総合振興計画

平成30年度(2018年度)～平成39年度(2027年度)

#### 観光振興計画

平成30年度(2018年度)～平成39年度(2027年度)

## ○本市の観光はどんな感じですか？

### 課題と方向性 ～本市の現状を踏まえて～

本市の観光に関する現状を調査分析したところ、以下の点が明らかになりました。

- 市民と観光客に観光資源に対する考え方の違いが見えます
- 観光資源が活用されていません
- 友人知人を通じた口コミでの情報伝達が主で、PRが足りていません
- 観光資源の価値を伝えできていません
- 観光客が本市を楽しむには、受入体制を整える必要があります



市民のみなさんが普段見慣れた本市の景色や、生活に根付いた伝統や文化は、市外から訪れる観光客の目には、非常に珍しい特別なことに映ります。みなさんの当たり前を観光資源として捉え、ていねいに説明するための仕組みづくりが、本市の観光の推進にとって不可欠です。

以下のような4つの課題（観光資源面、PR面、ブランド面、体制面）について整理し、今後の方向性を示しました。

#### <本市の課題>

##### 観光資源面

- 地域の観光資源について、自らも良く知らないものがある。
- 一方で「既に知名度が高い」との過信も。
- 「見る」だけでなく、「体験」できるものが乏しい。

##### PR面

- ネット対応が圧倒的に弱い。
- 県外者、初回訪問者への知名度が弱い。

##### ブランド面

- 旅のストーリー性、観光の一貫性が乏しい。
- 確実に立寄る・滞在させる取り組みが必要。
- まちのブランディングそのものの検討が必要。

##### 体制面

- 頑なに守ってきた郷土愛は大切にする一方、千客万来&変化を受け止める柔軟性も必要では。
- のんびり、緩やかという地域イメージを守りつつ、観光を進めるべきでは。
- 市民の主体的な取組と連携、観光を具体的に進めることができる体制作りが必要では。

#### <今後の方向性>

##### 観光資源面

- 自らの地域そのものを再発見、再評価する取組
- 観光客が体験・体感できるような仕掛けの強化

##### PR面

- 市外・県外者へのPR機会の増加と、定着の促進
- 様々な情報をリンクさせるなど、一体感あるPR

##### ブランド面

- 観光資源のブランド・ストーリー性を高める取組
- 来訪をより一層容易にする、きめ細かいアクセス提供

##### 体制面

- 市民協働と連携&変革への柔軟な対応
- 観光を着実に進める組織・体制の強化



# ○観光振興の取組はどのような内容ですか？

## 計画の基本構想 ～基本戦略と重点施策～

観光振興計画実践のための基本戦略は以下のとおりです。

### 1. 観光資源面 ～魅力ある観光資源を発掘・創出・活用～

地域の文化を感じることでできる伝統ある祭り、行事、郷土芸能などの保存を図るため、維持管理や後継者の育成を支援します。また、本市の既存観光資源の活用として、体験型の観光を推進するため、未利用の資源を掘り起こし、取組を市民に根付かせ、観光資源を積極的に活用する取組を支援していきます。

<重点施策>

- 1-1 観光資源づくり・創出
- 1-2 体験型観光づくり

### 2. PR面 ～市内外へのPR強化と、ネット&国際化対応～

本市における観光に関する情報を、市内外へ積極的かつ継続的に発信していきます。適切な情報を的確にターゲットへ伝えるための情報発信のあり方や広域連携による情報の見せ方、情報発信に関する技術について研究します。また、今後増加が見込まれる訪日外国人観光客への情報提供も進めます。

<重点施策>

- 2-1 拠点づくり・広域連携
- 2-2 情報発信の強化

### 3. ブランド面 ～観光ブランド化を通じた満足度の向上～

観光に関する取組を短期、中期、長期に分類し、取組の優先順位を定めます。その取組をテーマやストーリーに乗せて進めることや、アクセスの向上を推進することにより、市内外における観光満足度を高めていきます。さらに、観光による収益モデルを検討し、ブランド構築を行います。

<重点施策>

- 3-1 ブランディング
- 3-2 アクセスの向上

### 4. 体制面 ～市民協働による推進体制の構築と連携強化～

本市における市民が主役となる観光推進体制の構築や、受入体制を整備します。また、広くさまざまな団体や事業者と連携を可能にした取り組みやすい方策を打ち出します。

<重点施策>

- 4-1 官民協働の仕組づくり
- 4-2 組織体制・連携強化

4つの基本戦略を軸として、本市観光を推進していきます。

### 【成果指標(KPI)】

本市の観光振興キャッチコピーである『見つけよう、感動。伝えよう、魅力。～みんなで織りなす本庄絵巻～』の下、観光資源の発掘・創出・活用、PR、ブランド化、受入体制の強化により、本市の観光価値を高めることが重要です。

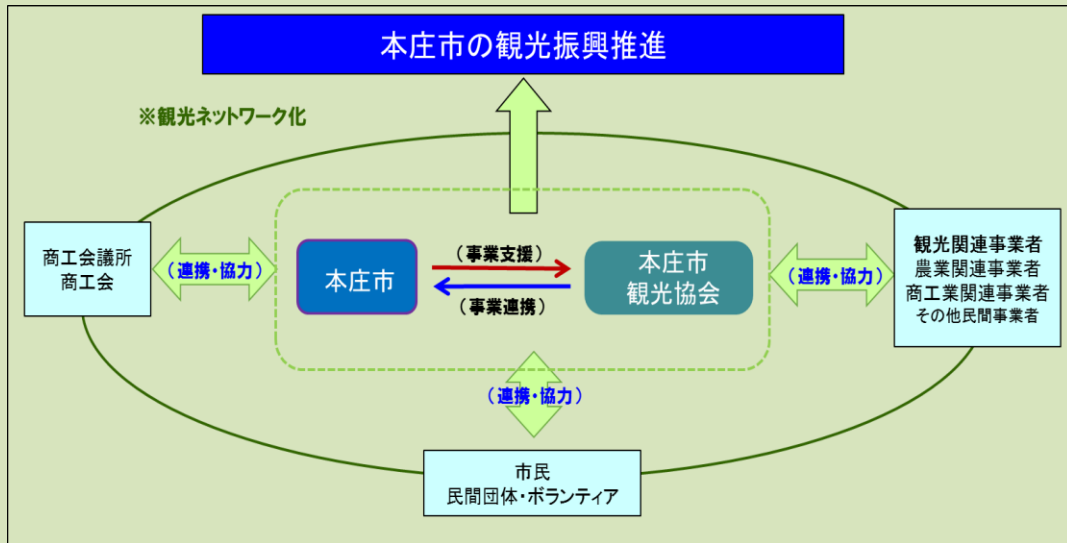
観光客が本市を楽しむ以上に、市民が本市の魅力に気づき、自らが誇りに思い楽しむことが出来る観光を実現するために、右記のような成果指標（KPI）を設定しました。

成果指標	現状値	目標値
	平成28年 (2016年)	平成39年 (2027年)
体験型観光メニュー登録数(件)	0	50
観光入込客数(人)	700,187	800,000
観光満足度(%)	73	83

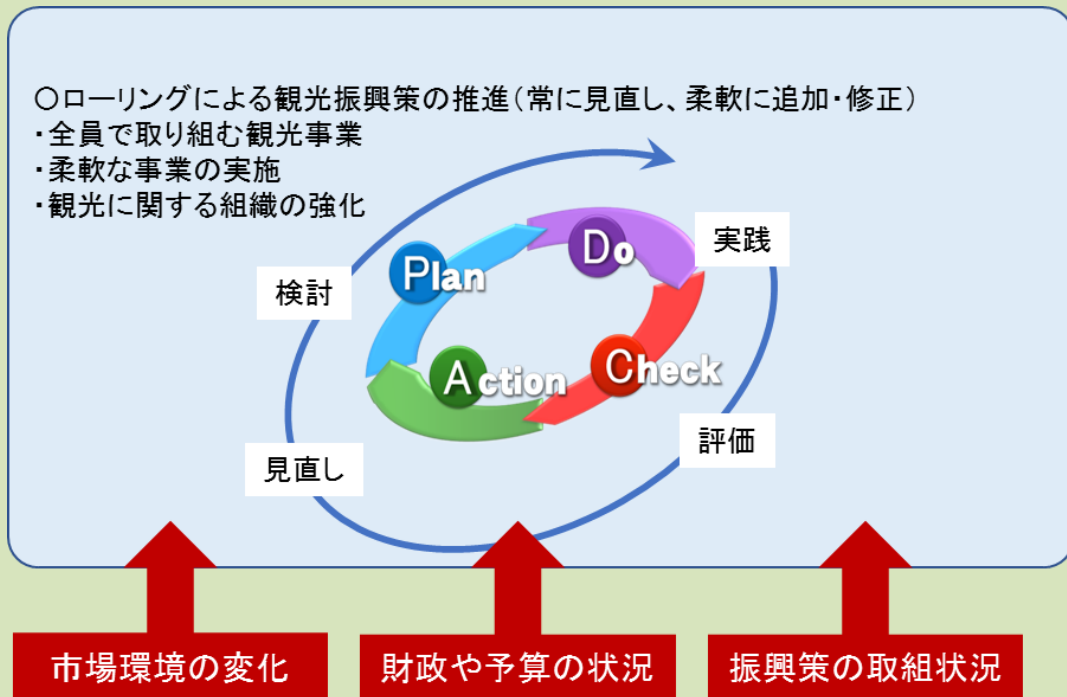
# ○どのようにして参加すればよいですか？

## 計画推進に向けて ～推進体制と観光振興策～

観光に関する組織の強化については、下図のような組織体制を整えて、市民や事業者の声を、観光施策にスピーディーに反映できるようにしていきます。



観光に関する具体的な取組内容は、観光振興策として別冊に示しています。これらの取組にあたっては、常に見直しを行い柔軟に対応し、下図のようなPDCAサイクルの方法によるローリング（推進と見直し）を繰り返し行っていきます。



本庄市観光振興計画についてのお問い合わせは

本庄市経済環境部商工観光課  
〒367-8501 本庄市本庄3-5-3  
TEL:0495-25-1174 FAX:0495-25-7750

